

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

変化するテレビを取り巻く環境

2007 年 2 月

情報学部 広報学科 4 年

柳 亜紀

テレビを取り巻く環境
柳 亜紀

目次

第1章 研究の概要	・・・ 1
1.1 研究の背景と目的	・・・ 1
1.2 研究の方法	・・・ 1
(1)進捗経緯	
(2)調査の概要	
1.3 成果の概要	・・・ 2
謝辞	・・・ 2
第2章 研究の成果	・・・ 3
2.1 回答者の概要	・・・ 3
2.2 テレビの見方の現状	・・・ 3
(1)テレビの視聴時間と執着度	
(2)よく見る番組と視聴態度	
2.3 テレビの見方から見るデジタル指向	・・・ 8
(1)地上波デジタル放送の視聴状況	
(2)アナログ放送と地上波デジタル放送のギャップ	
(3)デジタル指向	
(4)実際に視聴している人たちの視聴状況	
(5)地域密着型番組とデジタル指向	
2.4 他メディアや録画機器の使用とデジタル指向	・・・ 13
(1)録画機器の使用状況とテレビの見方	
(2)録画機器とデジタル指向	
(3)パソコン利用とデジタル指向	
2.5 地上波デジタル放送に関する知識	・・・ 18
第3章 まとめと今後の課題	・・・ 19
参考文献	・・・ 19
単純集計結果	・・・ 19

変化するテレビを取り巻く環境

第1章 研究の概要

1.1 研究の背景と目的

現在、テレビを取り巻く環境が大きく変わろうとしている。2003年12月から開始された地上波デジタル放送により、2011年にはアナログ放送が終了する。放送のデジタル化により、受身のスタイルに加え、視聴者自らが能動的に働きかける視聴スタイルが実現する。

株式会社電通が2004年1月に地上波デジタル放送に関する浸透度調査を実施した結果、約75%もの人が認知していた。また、家電売り上げに関しても、地上デジタル放送対応テレビの売り上げが伸びている。世間では着実に、アナログ放送からデジタル放送への移行が始まっている。

しかし、多くの人はまだデジタル放送への意識が低く、アナログ放送への依存が高い。そこで、デジタル放送の認知度、デジタル放送推進側の期待程実際に浸透していないのではないかと、また、現在のテレビの見方の現状を踏まえたうえでアナログ放送に重点を置き、デジタル放送とのギャップを調べ、どのような人がデジタル指向に向かいやすいのかということ进行调查したい。また、これら进行调查するにあたり、まず、人々がどのような番組や編成を選択・視聴しているかを把握しておく必要があると考え、普段のテレビの見方(テレビへの執着心など)、番組の選び方、あるいは他メディアや機器の使用との比較について実態を探ることにする。

1.2 研究の方法

(1)進捗経緯

- ・ ~7月：最終研究テーマ決定
- ・ 9月：調査票最終案完成
- ・ 10月：文教大学内にて調査票配布、回収
- ・ 11月：回収した調査票の集計
- ・ 12月：研究報告書提出

(2)調査の概要

- ・ 調査の意図
 - ・ アナログ放送でよく見る番組が、デジタル放送への視聴傾向とどのような関係があるか。
 - ・ デジタル放送に関心があるか。
 - ・ アナログ放送とデジタル放送で見たい番組のギャップはどの程度あるのか。
- ・ 調査対象者
 - ・ 文教大学生(記号論：約40人、通信とコンピュータ：約70人、その他：約20人)を得て配布し、回収した。

- ・ 調査方法
 - ・ 授業内にて手渡しによるアンケート調査
- ・ 主な質問項目
 - ・ テレビの平均視聴時間とテレビへの執着度。
 - ・ よく見る番組と、普段のテレビの視聴態度とよく見る番組の視聴態度。
 - ・ 普段のパソコン利用度と、インターネットテレビの視聴度。
 - ・ 地上波デジタル放送への関心度、視聴度、期待するコンテンツ。
- ・ 依頼数と回収数
 - ・ 依頼数： 1 3 0 枚
 - ・ 回収数： 1 3 0 枚
 - ・ 無効票： 8 枚
 - ・ 有効票： 1 2 2 枚

1 . 3 成果の概要

文教大学生はテレビが大好きであるということがまずわかった。また、テレビへの執着度が大きいほど、テレビへの関心が大きいことがわかった。またそのような人は、テレビが常についていたり、いつも見る番組が決まっていたりする人が多く、テレビ番組に満足している人が多い。しかし、テレビは好きだが、テレビを見る時間が少ない人ほど、インターネットをしているときなど見ないときは消す、という傾向にあることがわかった。

また、テレビをつけている時間が長い人ほど見ていなくてもテレビは消さないという「ながら視聴」が多く、テレビが BGV として存在しているといえる。そんな中で、自分が定期的に見ている番組についてはじっくりと集中して見ているということがわかった。

インターネットテレビに関しても、見ている人が多かった。しかし、こちらはアナログ放送の番組の見方とは違い、興味のある内容のところだけ集中して見ているという人が多かった。同じ「テレビ」であっても、見方が随分と違うことがわかった。

そして、地上波デジタル放送に関しては関心はあるものの、実際に視聴している人は少なく、地上波デジタル放送に関する知識も低いという結果になった。また、映画などをふだんからよく見ている人は高音質・高画質を求めるのでデジタル指向にある、などの仮説については、ほとんどそのような傾向がないということがわかった。

【謝辞】

本研究においては、調査の実施に際して多くの学生諸君から回答を頂きました。この調査協力に対しては心から御礼を申し上げる次第でございます。調査票を作成するまでの過程では、ゼミのメンバーをはじめとして、多くの方からの示唆を頂きました。また、研究の実施全般にたいしては、指導教授のハッ橋先生から様々な示唆を頂きました。これらの方皆さんに対して、謝意を表します。

第2章 研究の成果

2.1 回答者の概要

文教大学湘南校舎にて、テレビの利用に関する調査を行った。回答者の概要を示す。

なお、回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2-1-1 と表 2-1-2 で確認しておく。表 2-1-1 の学年別の分布では、1 年生が約 66 % と半数を占め、次いで 2 年生が約 20 %、3 年生が約 14 % となっている。また、表 2-1-2 の性別の分布では、男子が約 52 %、女子が約 48 % とほぼ半々となっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかし、クロス集計やグループの平均などの層化を行った場合では、影響は限定されと考えられる。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較

	1 年	2 年	3 年	4 年	計
回答者	66.4 (81)	19.7 (24)	13.9 (17)	0 (0)	100.0 (122)
湘南キャンパス 学生	27.7 (942)	26.4 (899)	23.0 (784)	22.9 (780)	100.0 (3405)

(注)母集団は湘南キャンパス学生(2006.10 末時点)である。

表 2-1-2 回答者と母集団の比較

	男子	女子	計
回答者	51.6 (63)	48.4 (59)	100.0 (122)
湘南キャンパス 学生	52.0 (1770)	48.0 (1635)	100.0 (3405)

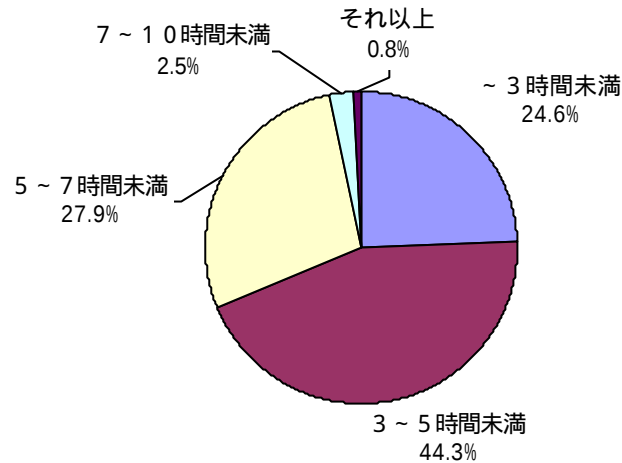
(注)母集団は湘南キャンパス学生(2006.10 末時点)である。

2.2 テレビの見方の現状

(1) テレビの視聴時間と執着度

まず、普段テレビをどのくらいつけているかということの集計結果を図 2-2-1 に示す。

図2-2-1 普段テレビをつけている時間



図を見ると、3時間未満テレビをつけている人が約25%、3～5時間テレビをつけている人が約44%と一番多く、5時間以上見ている人が約30%となっている。5時間未満テレビをつけている人で約7割に達していることがわかる。選択枝の中間値と割合を用いて平均値を計算すると、4.1時間である。

では、テレビ好きの程度はどのくらいなのだろうか。結果を図 2-2-2 に示す。

図2-2-2 テレビ好きの程度

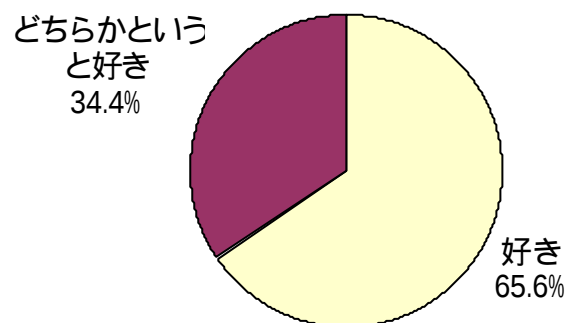


図 2-2-2 を見ると、テレビを好きな人は約66%、どちらかという好きと答えた人は約34%であった。また、テレビを嫌いな人はいないということがわかる。

次に、普段テレビをつけている時間でグループを作り、テレビが好きかという設問を集計した。普段どのくらいテレビをつけているかという設問を、3時間未満、3～5時間未満、5時間以上の3グループに分けて集計した。その結果を図2-2-3に示す。

仮説として、テレビの視聴時間が長い人ほどテレビ好きの程度が強いのではないかと考えた。

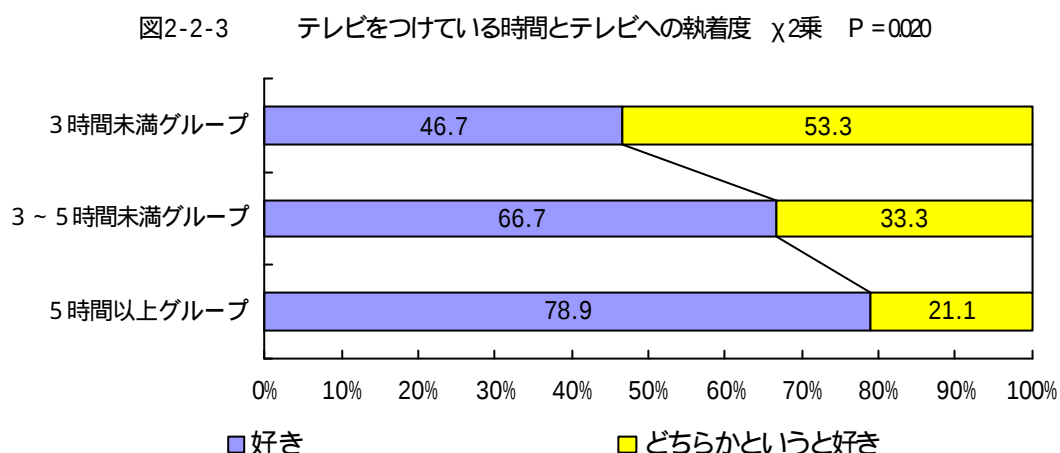
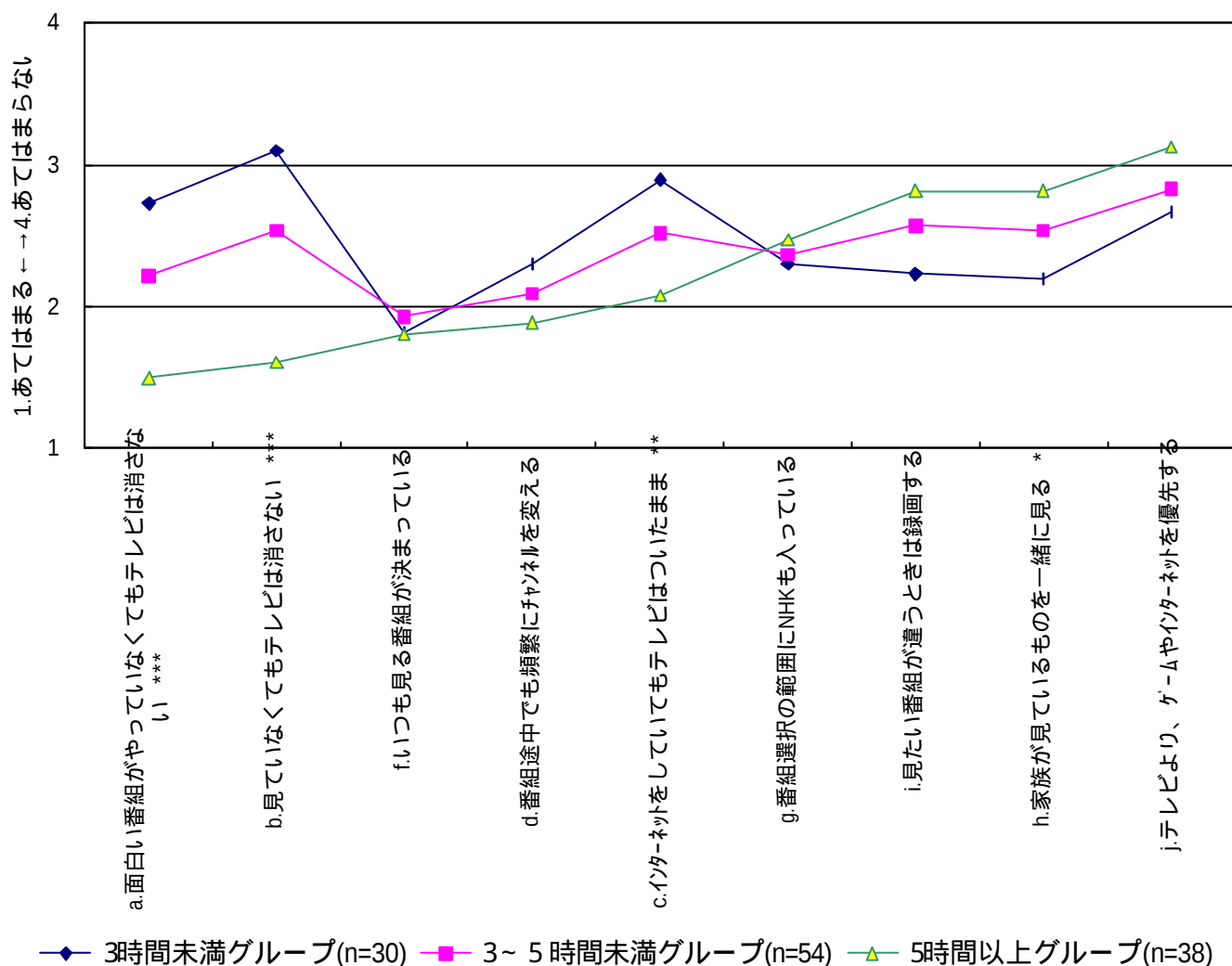


図2-2-3からいえることは、大差が出たわけではないが若干、3時間未満テレビをつけているグループに、テレビがどちらかという好きだと答えた人が多かった。逆に5時間以上テレビをつけているグループは、テレビが好きだと答えた人が多かった。つまり、テレビが好きだから視聴時間が長くなるという傾向にある。

では、普段の生活の中でのテレビの視聴状況はどの程度であろうか。普段テレビをつけている時間と生活の中でどのようなテレビへの接し方をしているかについて、それぞれ「1. あてはまる」、「2. ややあてはまる」、「3. あまりあてはまらない」、「4. あてはまらない」という選択肢を用いて、テレビを見る時間を3時間未満グループ、3～5時間グループ、5時間以上グループに分けてグループ別に平均した。結果を図2-2-4に示す。

図2-2-4 テレビの視聴時間と視聴態度



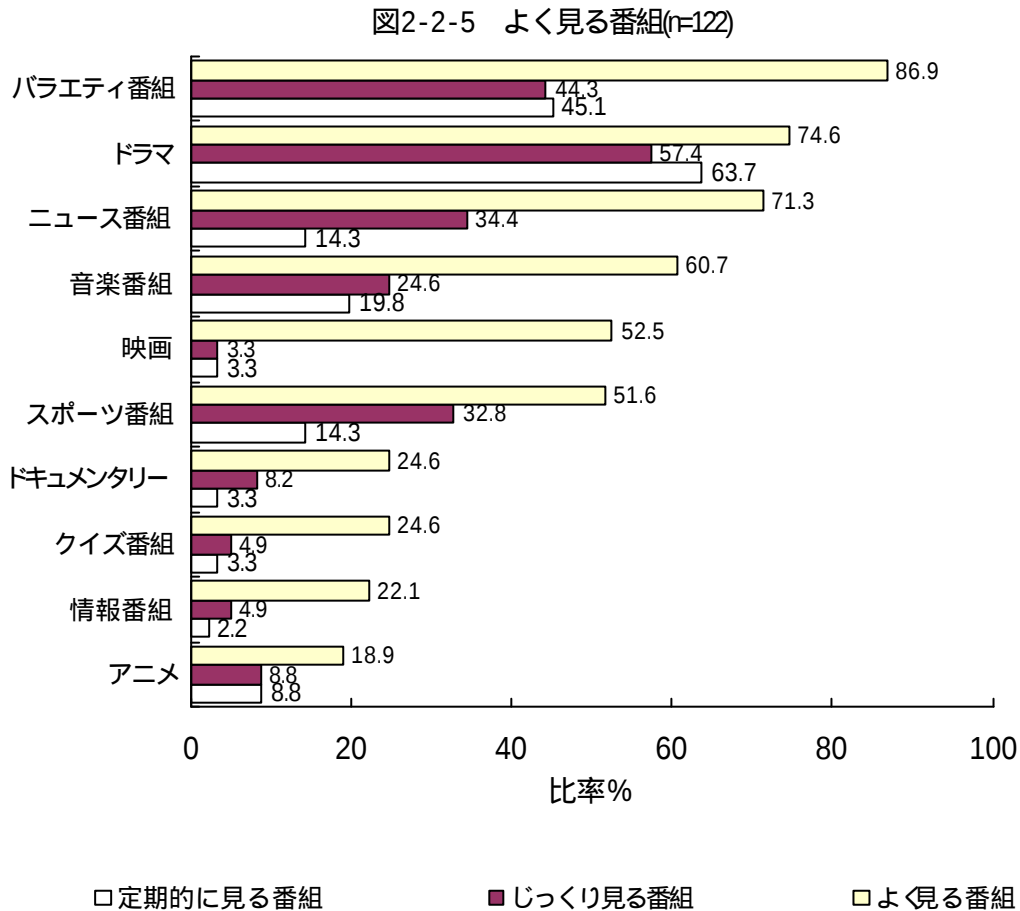
ここからわかることは、テレビをつけている時間の長さに関係なく、いつも見る番組が決まっている度合いが高いということだ。また、テレビよりインターネットやゲームを優先する度合いは低い。

グループ別に見てみると、テレビをつけている時間が3時間未満のグループについては、面白い番組がやっていなくてもテレビを消さない、インターネットをしてもテレビはついたまま、見ていなくてもテレビは消さない、という傾向にあてはまらないことがわかった。つまり、必要のないときにはテレビを消す傾向にあるといえる。

また、テレビをつけている時間が5時間以上のグループは、面白い番組がやっていなくてもテレビは消さない、いつも見る番組が決まっている、傾向が見られた。つまり、こちらは3時間未満グループとは反対に、必要がなくてもテレビは消さないということが分かった。面白い番組がやっていないときやテレビを見ていない時に、テレビを消すか消さないかという項目に注目してみると、5時間以上テレビを見るグループについては、BGVとしてテレビが存在しているといえる。

(2)よく見る番組と視聴態度

次に、文教大学生は普段どのような番組を視聴しているのか集計した。また、同様にじっくり見る番組、定期的に決めておいて見る番組についても集計した。結果を図 2-2-5 に示す。



ここからわかることは、よく見る番組についてはバラエティ番組を好んで見ている人が多いということだ。次いで、ドラマ、ニュース番組、音楽番組となっている。

では、これらの番組の中で、個人がじっくりと集中して見ている番組はいったいどのようなものが多いのだろうか。図 2-2-5 を見てみると、ドラマが多く、次いでバラエティ番組、ニュース番組、スポーツ番組となっている。ここで驚くのは、映画をじっくり集中して見ている人がとても少ないということだ。よく見る番組では約 53 %の人が答えているの対し、じっくり集中している人は約 3 %にとどまった。

次に、定期的に決めておいて見ている番組があるかどうか聞いた。あると答えた人は約 74 %で、番組内容についてはドラマが多く、次いでバラエティ番組、音楽番組と、ここでもやはりドラマが多かった。ドラマは翌週にストーリーが繋がるため、毎週逃さず見ている人が多いのだろう。また、映画ほど長い時間放送されているわけではないので、心身

の疲れに繋がることもないはずである。

また、その定期的に見ている番組の見方についても聞いている。結果、じっくり集中して見ている人が約 63%、興味がある内容のところだけ集中して見ていることが多いという人が約 28%、他の事をしながら見ていることが多いという人が約 4%であった。やはり自分が見ると決めて見ているだけあって、集中して見ている人が多いことがわかる。これらの中で一番見ている番組は「ドラマ」ということになる。

2.3 テレビの見方から見るデジタル指向

これまで、文教大学生の現在のテレビの見方について調査してきた。では、これらの結果からどのような人がデジタル指向があるかということを検証していく。

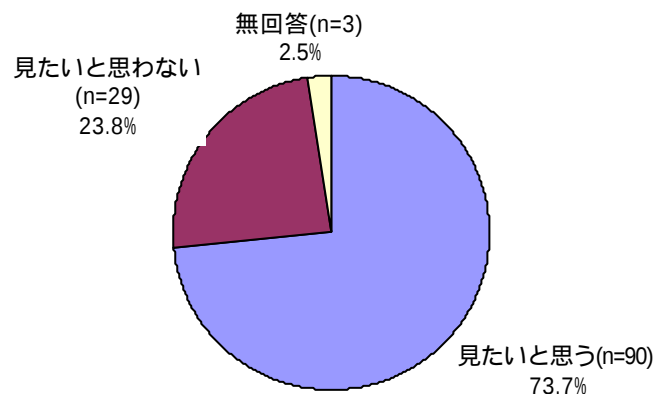
最近の新型テレビは、地上波デジタル放送対応のものが多く、チューナーが内蔵されているものも多い。そこで、今回は新しく一人暮らしを始めた等してテレビを購入したであろう新入生を中心に回答を得て、どれだけ地上波デジタル放送が視聴されているかという実態を調査した。

(1) 地上波デジタル放送の視聴状況

ここでは、どのくらいの人地上波デジタル放送を見たいと思っているか、また、実際にどのくらいの人地上波デジタル放送を視聴しているのかということを検証していく。

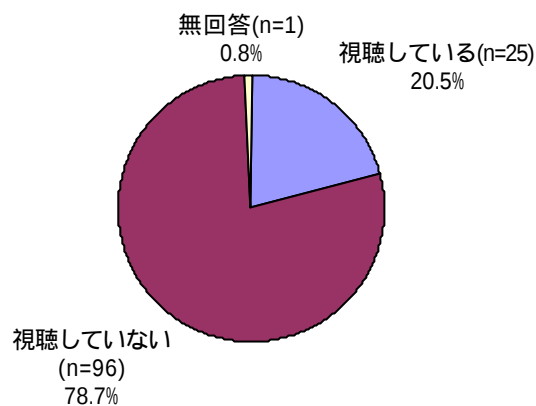
まずは、どのくらいの人地上波デジタル放送を見たいと思うかという設問を集計した。設問の結果を図 2-3-1 に示す。

図2-3-1 地上波デジタル放送を見たいと思うか



ここからいえることは、約 74% もの人が地上波デジタル放送を見たいと思っていることがわかる。では、実際にどの程度の人地上波デジタル放送を視聴しているのだろうか。結果を図 2-3-2 に示す。

図2-3-2 地上波デジタル放送の視聴状況

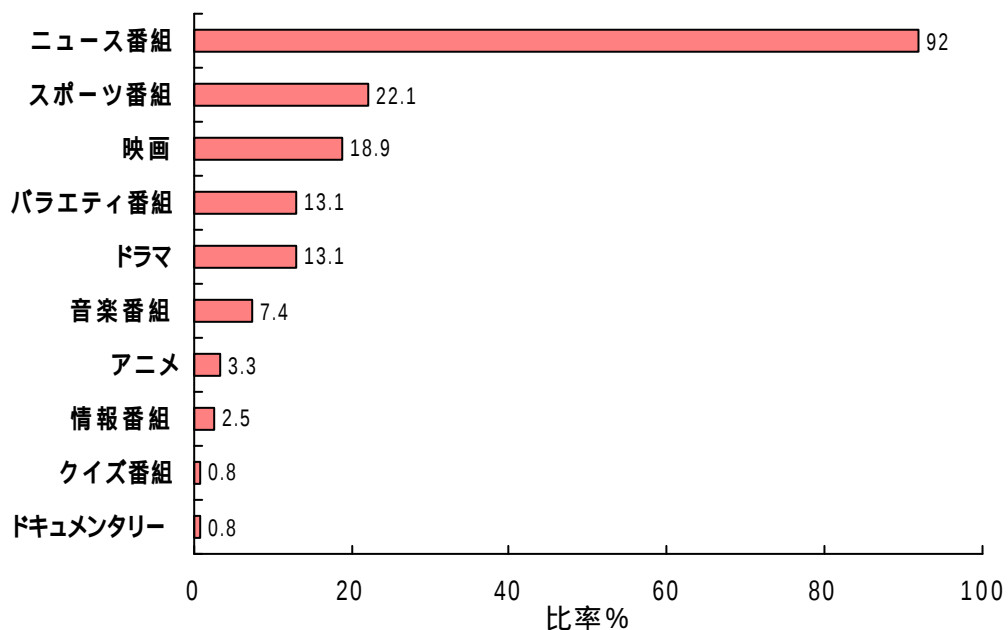


実際に視聴しているという人が約21%、視聴していないという人が約79%であった。つまり、地上波デジタル放送には関心があっても、実際に視聴している人は少ないということがいえる。

(2) アナログ放送と地上波デジタル放送のギャップ

今までの調査で、ふだんよく見る番組はバラエティ番組が多く、次いでドラマ、ニュース番組、音楽番組という結果が得られた。では、地上波デジタル放送で見たい番組・魅力が増した番組は何なのだろうか。結果を図2-3-3に示す。

図2-3-3 地デジで見たい番組・魅力が増した番組 (n=122)



結果を見てみると、ニュース番組が92%と、圧倒的にニュース番組へ票が集中した。アナログ放送で普段よく見る番組として一番多かったバラエティ番組は、ここでは約13%と少ない。よって、普段アナログ放送でよく見ている番組が、そのまま地上波デジタル放送で見たい番組へ繋がるわけではないということがわかった。

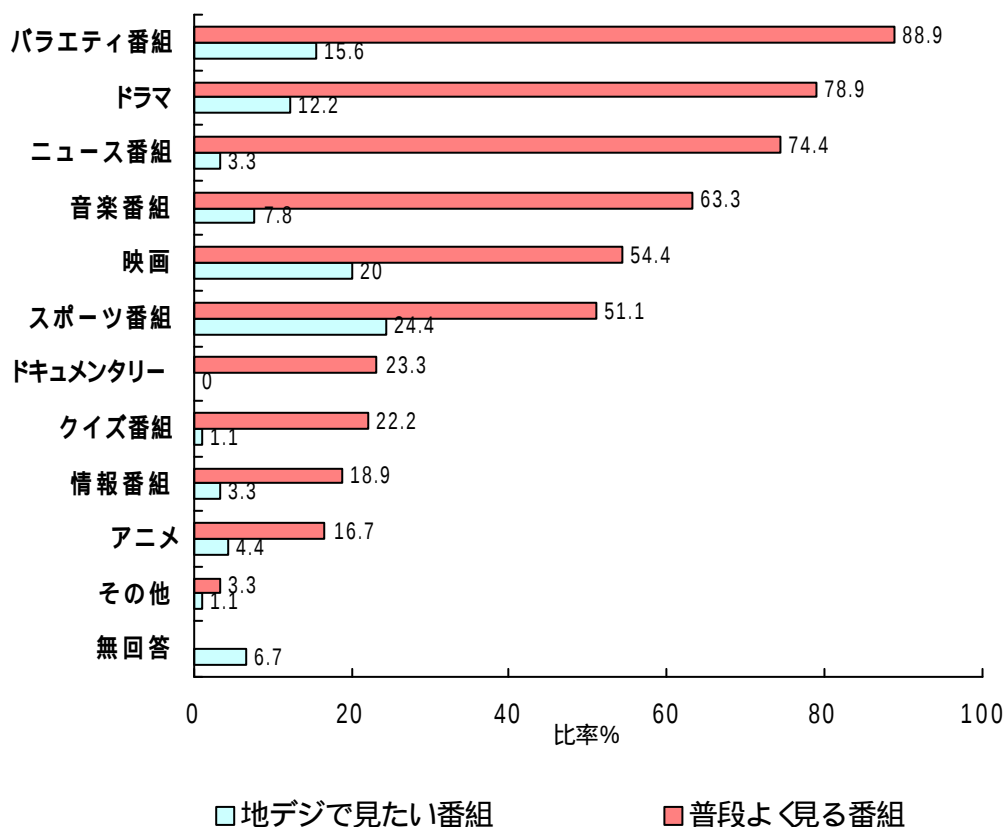
(3) デジタル指向

これまでの結果で、普段アナログ放送でよく見る番組と地上波デジタル放送で見たい番組・魅力の増した番組は同じではないということがわかった。では、アナログ放送で映画をよく見る人は、高音質・高画質に魅力を感じるのでデジタル指向にある、アナログ放送でクイズ番組をよく見る人は双方向サービスに魅力を感じるのでデジタル指向にある、ということはいえないのであろうか。

まず、「デジタル指向」という概念について説明しておかなければならない。この調査では、地上波デジタル放送とアナログ放送の比較をしており、ここでは、「地上波デジタル放送に興味があり、視聴意向があるもの」ということにする。

地上波デジタル放送を見たいと答えた人たちは、地上波デジタル放送に何らかの魅力を感じているはずである。従って、これらの人たちの普段よく見る番組と地上波デジタル放送で見たい・魅力の増した番組を比較してみた。結果を図2-3-4に示す。

図2-3-4 よく見る番組とデジタル指向 (n=90)

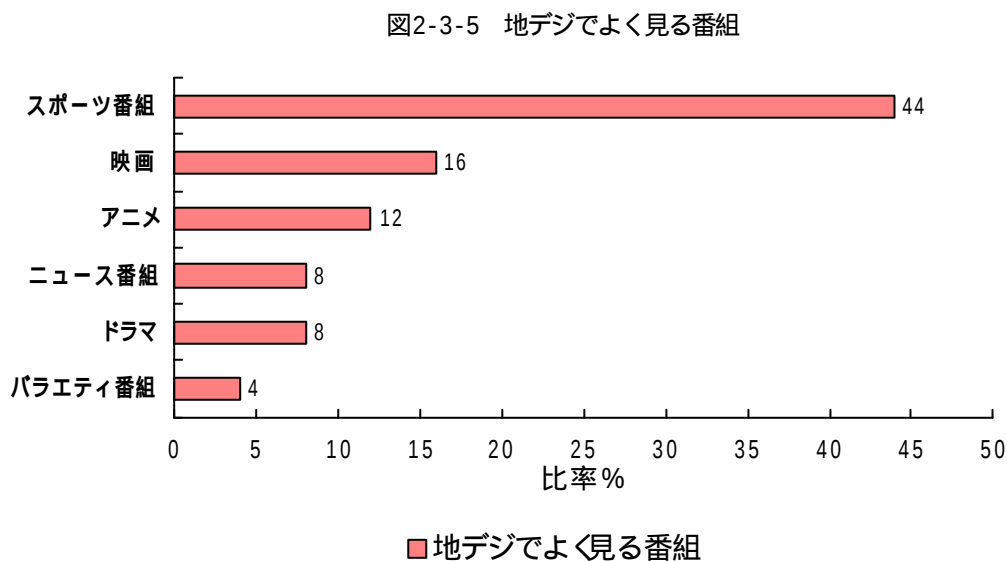


地上波デジタル放送を見たいグループで、普段よく見る番組と地上波デジタル放送で見たい・魅力の増した番組を比較してみたところ、普段よく見る番組(アナログ放送)ではバラエティ番組が最も多く、次いでドラマ、ニュース番組であったのに対し、地上波デジタル放送で見たい番組・魅力の増した番組ではスポーツ番組が最も多く、次いで映画、バラエティ番組、という結果が図 2-3-4 からわかる。映画やスポーツなどは臨場感溢れる高音質・高画質を求める番組選択が多いのではないかといえる。

また、これらの集計から、映画を普段からよく見ているので、高画質・高音質を求めるためデジタル指向がある、クイズ番組を普段からよく見ているので、双方向番組としてのデジタル指向があるなどの仮説はあてはまらないことがいえる。つまり、普段よく見る番組が必ずしもデジタル指向に繋がる要因ではないということだ。

(4)実際に視聴している人たちの視聴状況

まず、実際に地上波デジタル放送を視聴している人たちがどのような番組を視聴しているかをまとめてみた。結果を図 2-3-5 に示す。

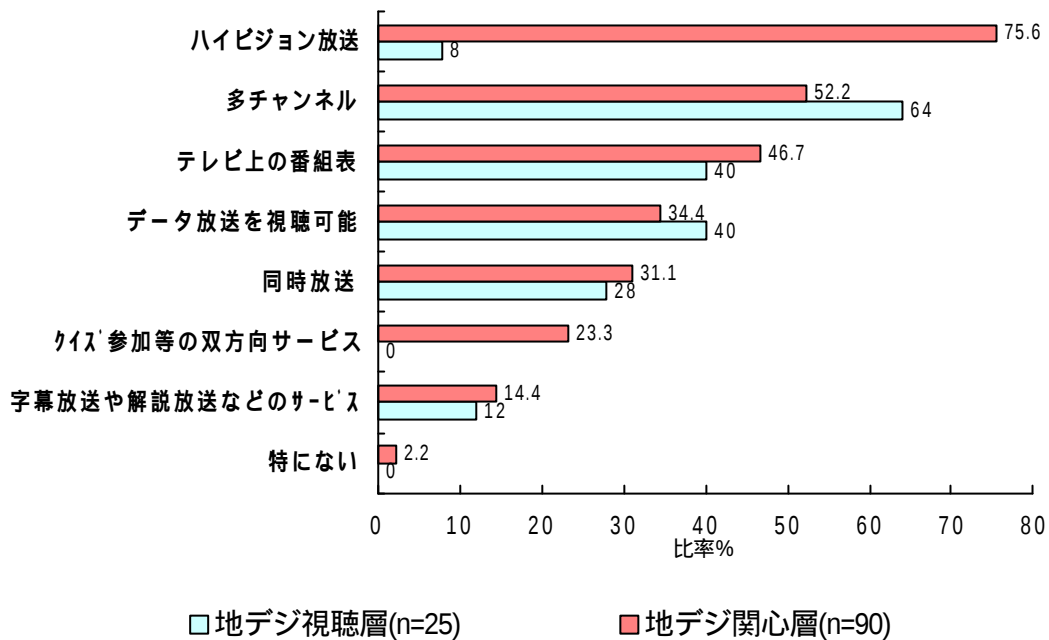


ここでは、スポーツ番組を見ている人が44%と一番多く、次いで映画・アニメが続いている。スポーツ番組が一番多かったことに関しては、地上波デジタル放送のコンテンツのひとつである臨場感溢れるハイビジョン放送や、選手情報などのデータ放送も同時に見られるためと考えられる。

では、地上波デジタル放送を実際に視聴している人とでは、アナログ放送と比べてよいところ(期待するデジタル放送の良さ)がどの程度差が見られるのかを比較した。実際に地上波デジタル放送を視聴している人を地デジ視聴層とし、地上波デジタル放送を見たい人

を地デジ関心層とする。結果を図 2-3-6 に示す。

図2-3-6 地上波デジタル放送の実際の良さと期待コンテンツ



結果を見ると、実際に地上波デジタル放送を視聴している人では多チャンネルに良さを特に感じていて、次いでテレビ上の番組表、データ放送を視聴可能というところに良さを感じている。また、クイズ参加等の双方向サービスというコンテンツに関しては、良さを感じていると答えた人はいなかった。地上波デジタル放送に関心のある人たちでは、圧倒的にハイビジョン放送に期待が集中しており、次いで、多チャンネル、テレビ上の番組表と続く。ハイビジョン放送に関しては、実際地上波デジタル放送を視聴している人たちとの差が著しく、とても面白い結果となった。ハイビジョン放送は、地上波デジタル放送の広告の売りとして最もわかりやすいものでもあるので、それが影響しているようにも思う。

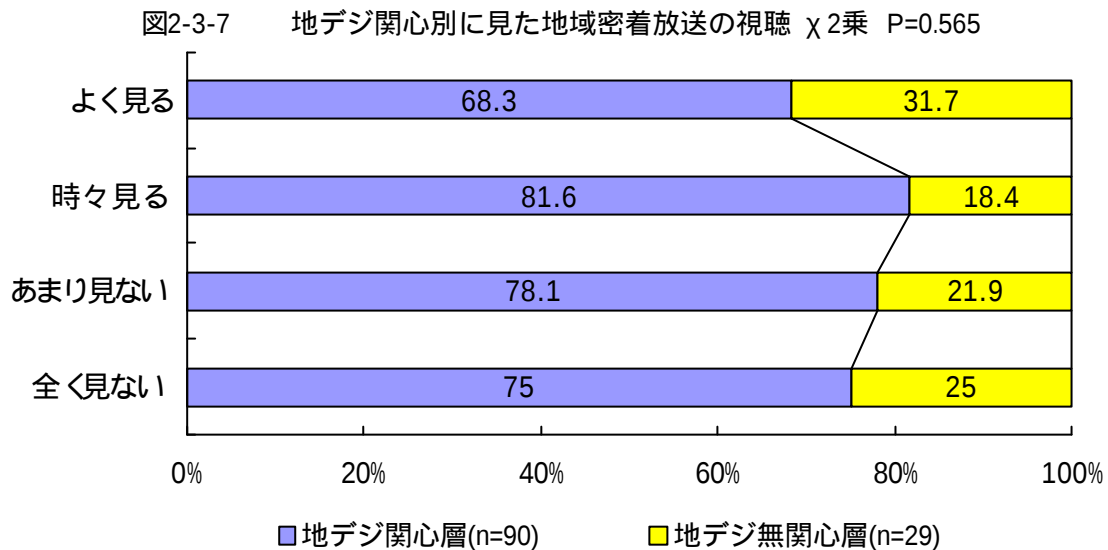
(5) 地域密着型番組とデジタル指向

ここで、地上波デジタル放送のひとつの売りである詳細な地域情報の提供というものに注目してみる。仮説として、ケーブルテレビや地元密着型の番組を見る人は、画質向上や多チャンネル、地域情報など地上波デジタル放送のメリットを被るところがあるので、視聴意向がある、というものを考えてみる。

まず、テレビ神奈川のような地域密着型のテレビを見ている人は、よく見ると答えた人が約7%、時々見ると答えた人が約28%、あまり見ないと答えた人が32%、全く見ないと答えた人が約34%であった。また、スカイパーフェクト等のサービスに加入しているかということも聞いた。スカイパーフェクトTVに加入している人は約15%、ケーブ

ルテレビに加入している人は約 31%、BS デジタル放送に加入している人は約 15%、CS デジタル放送に加入している人は約 3%であった。

では、仮説を実証するために地域密着型のテレビを見るかという設問と、地上波デジタル放送を見たいかという設問を 関心あり(見たいと思う)、関心なし(見たいと思わない)の 2 グループに分けて集計した。結果を図 2-3-7 に示す。



結果を見ると、地域密着型番組を見ていてもいなくても、地上波デジタル放送への関心はあまり変わらないということがわかる。つまり、地上波デジタル放送への関心の有無と視聴度合いは関係がないということがわかった。

2.4 他メディアや録画機器の使用とデジタル指向

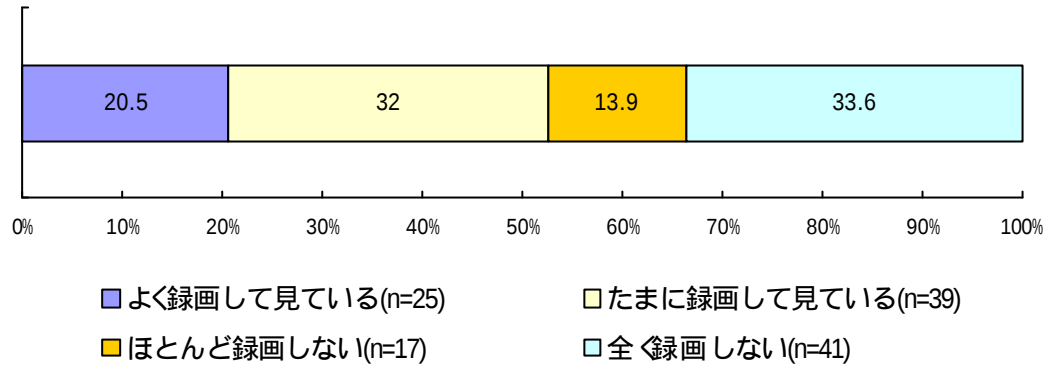
これまで、テレビの見方や番組の見方からのデジタル指向について集計してきた。しかし、テレビの見方のひとつとして、録画機器の使用という選択もある。また、最近ではパソコンの普及により、インターネットでテレビ番組や動画を視聴することができるインターネットテレビも普及してきている。

そこで、これら他メディアや録画機器の使用によってどの程度テレビの見方に影響があるのか、また、デジタル指向があるのかということを見ていきたい。

(1)録画機器の使用状況とテレビの見方

まず、録画機器の使用状況を知っておく必要がある。テレビ番組をビデオや HDR 等に録画して見ているかという設問を集計した。結果を図 2-4-1 に示す。

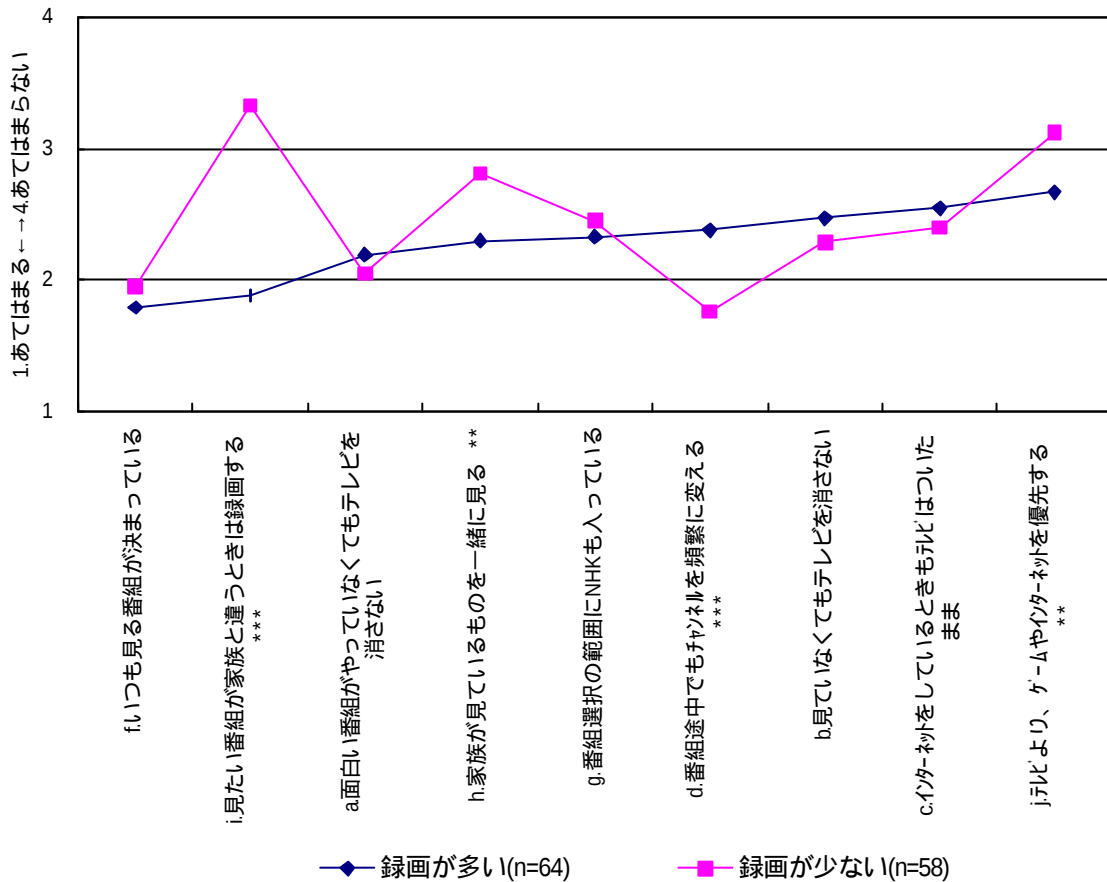
図2-4-1 テレビ番組の録画の有無



よく録画して見ていると答えた人が約 21%、たまに録画して見ていると答えた人が 32%、ほとんど録画しないと答えた人が約 14%、全く録画しないと答えた人が一番多くて約 34%であった。毎日ではなくても、録画機器を使用したことのある人がほとんどであった。

ここで、テレビ番組をビデオや HDR 等に録画して見ているかという設問を録画が多いグループ、録画が少ないグループの 2 つに分けた。そしてテレビへの接し方に関するあてはまり具合を聞く質問「1. あてはまる」、「2. ややあてはまる」、「3. あまりあてはまらない」、「4. あてはまらない」の回答の選択肢番号の平均値をグループごとに求めた。その結果を図 2-4-2 に示す。

図2-4-2 録画機器の使用と視聴度



二つのグループの差が出た項目に注目してみると、「見たい番組が家族と違うときは録画する」、「家族が見たいものを一緒に見る」、「番組途中でもチャンネルを頻繁に変える」、「テレビよりゲームやインターネットを優先する」、といった項目である。特に差が大きかったところは、「見たい番組が家族と違うときは録画する」という項目で、録画が多いグループは傾向が強く、録画が少ないグループは傾向が弱い。また、「番組途中でもチャンネルを頻繁に変える」という項目は、録画が少ない人たちがその傾向が強いということがわかった。

(2) 録画機器とデジタル指向

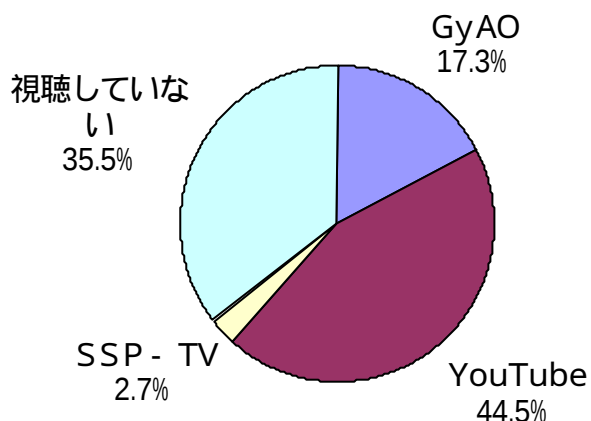
では、録画機器の使用頻度とデジタル指向には何らかの関係があるのだろうか。テレビ番組をビデオや HDR 等に録画して見ているかという設問と地上波デジタル放送を見たいと思うかという設問と集計したが、結果には全く差が出なかった。また、テレビ番組をビデオや HDR 等に録画して見ているかという設問を、実際に地上波デジタル放送を視聴しているかという設問を集計してみたが、これも差がでなかった。つまり、録画機器に関し
て言えば、録画機器の使用はデジタル指向には関係がないということがわかる。

(3) パソコン利用とデジタル指向

最近では、パソコンの普及により、無料でインターネットでテレビも見られるようになった。それがインターネットテレビである。インターネットテレビを代表するものとして、GyAO や YouTube などがある。インターネットテレビと普段私たちが見ているテレビの見方に違いはあるのか、またインターネットテレビを見ている人はデジタル指向があるのかということを集計していく。

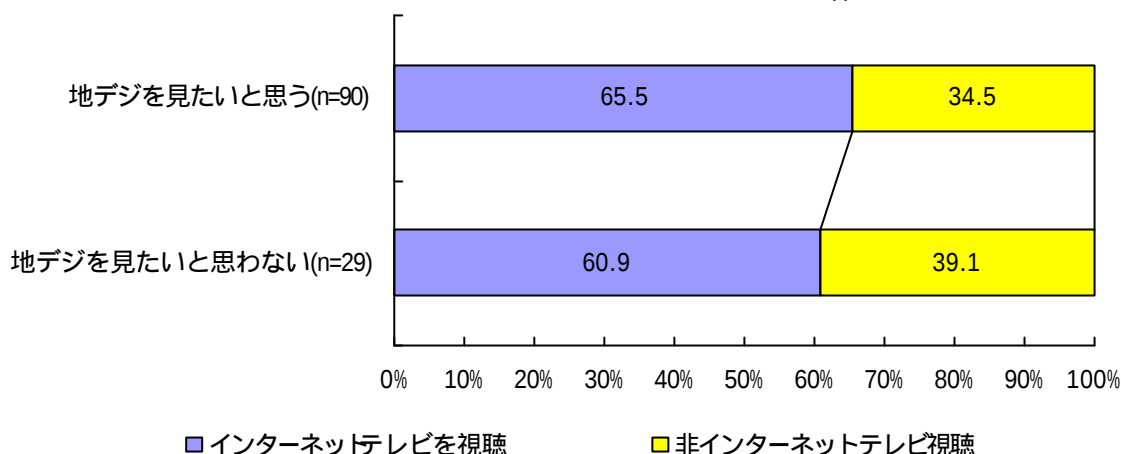
まず、文教大学生の約90%が自宅でパソコンを使ってwebの閲覧をしており、ほぼ毎日パソコンを使っている人が約71%であった。また、インターネットテレビを視聴しているかという設問を集計したものを図2-4-3に示す。

図2-4-3 インターネットテレビの視聴状況



GyAO を視聴している人が約17%、動画投稿サイトの YouTube を使用している人が約45%、主にお笑い芸人の番組を提供している SSP-TV を視聴している人が約3%、インターネットテレビを視聴していない人が約36%であった。では、インターネットテレビを見ている人と見ていない人とでは、デジタル放送への関心がどの程度違うのだろうか。インターネットテレビを見ているかという設問を 視聴している、 視聴していないの2グループに分け、地上波デジタル放送を見たいと思うかという設問と集計した。結果を図2-4-4に示す。

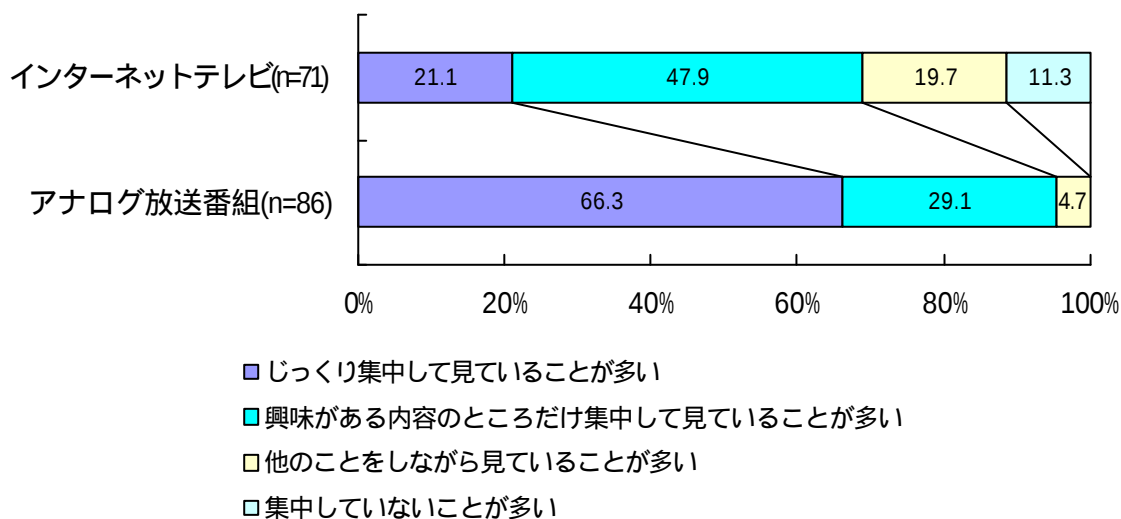
図2-4-4 インターネットテレビの視聴とデジタル指向 χ^2 乗 P=0.430



図を見てみると、どちらのグループも地上波デジタル放送への関心は、インターネットテレビを視聴している・いないに関係がないことがわかる。インターネットテレビを視聴していても、地上波デジタル放送に関心がない人もいたので、パソコンやインターネットの利用が、デジタル指向と密接的に関係しているとはいえないことがわかる。

次に、普段アナログ放送で見ている番組の視聴態度と、インターネットテレビの視聴態度にどのような違いがあるかということを集計した。結果を図 2-4-5 に示す。

図2-4-5 インターネットテレビとアナログ放送の視聴態度



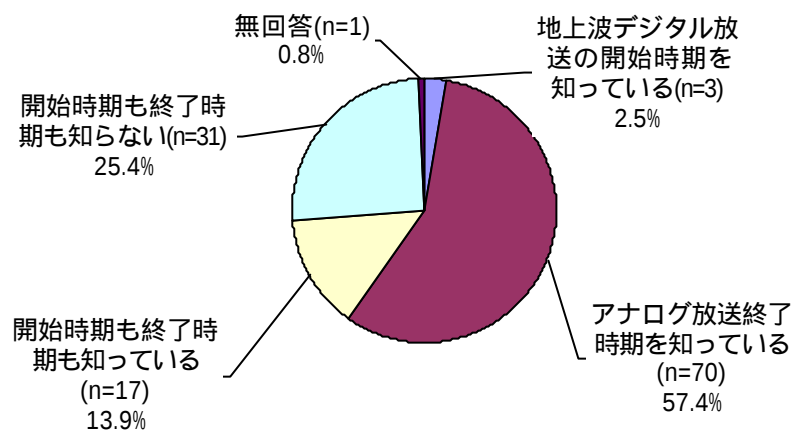
図を見てみると、アナログ放送の番組では、じっくり集中して見ていることが多い人が約 63%であったのに対し、インターネットテレビでは約 21%であった。インターネットテレビの視聴態度は興味がある内容のところだけ集中して見ていることが多いという人

が多く、アナログ放送の番組の視聴態度との違いがはっきりとわかる。

2.5 地上波デジタル放送に関する知識

では実際、文教大学生は地上波デジタル放送についての知識はあるのだろうか。ここでは、最低限の知識として地上波デジタル放送の開始時期とアナログ放送の終了時期について聞いているので、結果を図 2-4-5 に示す。

図2-5-1 地上波デジタル放送の知識



図を見ると、地上波デジタル放送の開始時期を知っている人は約3%で、アナログ放送の終了時期だけを知っている人が約57%であった。また、開始時期も終了時期も知らないと答えた人が約25%で、地上波デジタル放送に関する知識が低いということが分かる。また、アナログ放送終了時期については、テレビCMで頻繁に放送して呼びかけを行っていることから、高い結果が得られたと考えられる。

第3章 まとめと今後の課題

2003年10月、地上波デジタル放送が開始されて早3年が経過した。テレビを取り巻く環境は、確かに大きく変化を始めている。しかし、依然として私たちはアナログ放送に依存していることがわかった。そして、テレビは BGV としての存在となってきたこともわかった。

普段映画などをよく見る人は高音質・高画質を求めるのでデジタル指向がある、などの仮説についても、ほとんどそのような傾向は見られなかった。普段よく見る番組が、そのままデジタル指向に繋がるということはないのだ。また、地上波デジタル放送に関心はあるものの、実際に視聴している人も少なく、また、知識も乏しいということがわかった。これは、デジタル放送推進側の期待ほど若者には浸透していないということがいえるだろう。

しかし、私たちがテレビが大好きだということは明らかであり、これからもテレビと密接した関係を続けていくことは間違いないだろう。地上波デジタル放送がどれだけ私たちの生活に浸透していくか、とても楽しみである。

【反省】

- ・ アンケート実施の前に、もっときちんと調査票を見直すべきだった。あとから、間違いが次々に発見されてしまった。
- ・ もっと、地上波デジタル放送についても知識を問う設問を作るべきだった。
- ・ デジタル指向が比較できるような設問を作るべきだった。

参考文献

- ・ 社団法人 B S デジタル放送推進委員会 <http://www.bpa.or.jp/>
- ・ 社団法人地上デジタル放送推進委員会 <http://www.d-pa.org/>
- ・ 電通 コーポレート・コミュニケーション局広報資料室 <http://www.dentsu.co.jp/>
- ・ 株式会社メタフェイズ ネットリサーチ事業部
<http://www.niche-ad.com/research/contents/metaphase.html>
- ・ マクロミル <http://www.macromill.com/>
- ・ 放送研究と調査(2003.7～8. 2004.1)
- ・ goo Research <http://research.goo.ne.jp/Result/000067/index.html>

テレビの利用に関する調査

2006.10

情報学部 広報学科4年 ハッ橋ゼミナール 柳 亜紀

配布数：130票 回収数：130票 無効票：8票 有効数：122票

問1 あなたは普段、テレビをどのくらいつけていますか？(1つに○) n=122

1. ~3時間未満 24.6	2. 3~5時間未満 44.3	3. 5~7時間未満 27.9
4. 7~10時間未満 2.5	5. それ以上 0.8	

問2 あなたはテレビが好きですか？(1つに○) n=122

1. 好き 65.6	2. どちらかというと好き 34.4
3. どちらかというと嫌い 0	4. 嫌い 0

問3 あなたはテレビ番組をビデオやHDR等に録画して見えていますか？(1つに○) n=122

1. よく録画して見ている 20.5	2. たまに録画して見ている 32.0
3. ほとんど録画しない 13.9	4. 全く録画しない 33.6

問4 あなたには、次のようなことがどの程度ありますか。A~Lのそれぞれについて、あてはまる番号に○を1つずつつけてください。 n=122

	1.あてはまる	2.ややあてはまる	3.あまりあてはまらない	4.あてはまらない
A:面白い番組がやっけていなくてもテレビは消さない	38.5	30.3	11.5	19.7
B:見ていなくてもテレビは消さない	29.5	29.5	13.9	27.0
C:インターネットをしているときもテレビはついたまま	23.8	27.9	25.4	23.0
D:番組途中でもチャンネルを頻繁に変える	36.1	29.5	24.6	9.8
E:いつも見る番組が決まっている	41.8	33.6	15.6	6.6
G:番組選択の範囲は広く、NHKも選択肢に入る	24.6	29.5	28.7	17.2
H:家族が見ているものを一緒に見る	16.4	36.1	24.6	23.0
I:見たい番組が家族と違うときは、ビデオ等に撮る	25.4	23.0	21.3	30.3
J:テレビより、ゲームやインターネットを優先する	8.2	21.3	44.3	26.2
K:テレビを見なくなった	9.8	23.0	19.7	47.5

問5 よく見る番組は何ですか？(あてはまるだけ○) n=122

1. ニュース番組 71.3	2. スポーツ番組 51.6	3. バラエティ番組 86.9	4. 音楽番組 60.7
5. 映画 52.5	6. アニメ 18.9	7. ドラマ 74.6	8. クイズ番組 24.6
9. 情報番組 22.1	10. ドキュメンタリー 24.6		11. その他 4.9

付問 その中でじっくり集中して見ているものは何ですか？(あてはまるだけ○) n=122

1. ニュース番組 34.4	2. スポーツ番組 32.8	3. バラエティ番組 44.3	4. 音楽番組 24.6
5. 映画 3.3	6. アニメ 8.8	7. ドラマ 57.4	8. クイズ番組 4.9
9. 情報番組 4.9	10. ドキュメンタリー 8.2	11. その他 2.5	

問 6 定期的に見る番組を決めておいて見ているものがありますか？(1つに○) n=122

1. はい 付問 1 へ 73.8	2. いいえ 問 7 へ 25.4	無回答 0.8
-------------------	-------------------	---------

付問 1 その番組はどのような番組ですか？(あてはまるだけ○) n=91

1. ニュース番組 14.3	2. スポーツ番組 14.3	3. バラエティ番組 45.1	4. 音楽番組 19.8
5. 映画 3.3	6. アニメ 8.8	7. ドラマ 63.7	8. クイズ番組 3.3
9. 情報番組 2.2	10. ドキュメンタリー 3.3	11. その他 2.2	

付問 2 それらの番組の見方はどうですか？(1つに○) n=91

1. じっくり集中してみていることが多い 62.6	
2. 興味がある内容のところだけ集中して見ていることが多い 27.5	
3. 他のことをしながら見ていることが多い 4.4	4. 集中していないことが多い 0
無回答 5.5	

問 7 あなたはテレビ神奈川のような地域密着型のテレビを見ますか？(1つに○) n=122

1. よく見る 6.6	2. 時々見る 27.9	3. あまり見ない 32.0	4. 全く見ない 33.6
-------------	--------------	----------------	---------------

問 8 以下のもので加入しているものがありますか？(あてはまるだけ○) n=121

1. スカイパーフェクトTV 14.9	2. ケーブルテレビ 31.4
3. BSデジタル放送 14.9	4. CSデジタル放送 2.5
無回答 57.9	

* パソコン利用についてお聞きします。

問 9 あなたは自宅でパソコンを使って Web の閲覧をしていますか？(1つに○) n=122

1. している 付問 1 へ 90.2	2. していない 問 10 へ 9.8
---------------------	---------------------

付問 1 あなたは1日に Web 閲覧をどのくらい利用しますか？(1つに○) n=110

1. 5分未満 1.8	2. 10～30分未満 11.8	3. 1時間未満 22.7
4. 2時間未満 40.9	5. 3時間以上 20.9	無回答 1.8

付問 2 あなたはふだん、パソコンをどの程度使っていますか？(1つに○) n=110

1. ほぼ毎日 70.9	2. 週1～3回 26.4	3. 月に1、2回程度 1.8
4. それ以下 0	無回答 0.9	

付問3 あなたは以下のインターネットテレビを視聴しますか?(1つに○) n=110

1. GyAO 17.3	2. YouTube 44.5	3. 政府インターネットテレビ 0
4. SSP-TV 2.7	5. 視聴していない 問10へ 35.5	

付問4 その番組の見方はどうですか?(1つに○) n=72

1. じっくり集中してみていることが多い 20.8	
2. 興味がある内容のところだけ集中して見ていることが多い 47.2	
3. 他のことをしながら見ていることが多い 19.4	4. 集中していないことが多い 11.1
無回答 1.4	

*地上波デジタル放送についてお聞きします。

問10 地上波デジタル放送を見たいと思いますか?(1つに○) n=122

1. 見たいと思う 73.8	2. 見たいと思わない 23.8	無回答 2.5
----------------	------------------	---------

問11 地上波デジタル放送を実際に視聴していますか?(1つに○) n=122

1. 視聴している 付問1へ 20.5	2. 視聴していない 問12へ 78.7	無回答 0.8
---------------------	----------------------	---------

付問1 どのような番組を視聴していますか?(1つに○) n=25

1. ニュース番組 8.0	2. スポーツ番組 44.0	3. バラエティ番組 4.0	4. 音楽番組 0
5. 映画 16.0	6. アニメ 12.0	7. ドラマ 8.0	8. クイズ番組 0
9. 情報番組 0	10. ドキュメンタリー 0	11. その他 0	無回答 8.0

付問2 アナログ放送と比べて良いところはどのようなところですか?(あてはまるだけ○) n=25

1. ハイビジョン放送 8.0	2. 同時放送 28.0	3. テレビ上の番組表 40.0
4. 字幕放送や解説放送などのサービス 12.0		
5. クイズ参加などの双方向サービス 0	6. 多チャンネル 64.0	
7. ニュースや天気予報、地域情報などデータ放送を視聴可能 40.0		
8. 特にない 0	9. その他 12.0	無回答 4.0

付問3 視聴しているテレビは、地上波デジタル放送対応チューナー内蔵のテレビですか?(1つに○) n=25

1. はい 72.0	2. いいえ 16.0	3. わからない 12.0
------------	-------------	---------------

問12 地上波デジタル放送で、どのような番組を特に見たいですか?また、実際にデジタル放送を視聴している方は魅力が増した番組はどの番組ですか?(1つに○) n=122

1. ニュース番組 92.0	2. スポーツ番組 22.1	3. バラエティ番組 13.1	4. 音楽番組 7.4
5. 映画 18.9	6. アニメ 3.3	7. ドラマ 13.1	8. クイズ番組 0.8
9. 情報番組 2.5	10. ドキュメンタリー 0.8	11. その他 0.8	無回答 9.0

問 1 3 期待する地上波デジタル放送の良さとはどのようなところですか？(あてはまるだけ○)

n=122

1 . ハイビジョン放送 65.6	2 . 同時放送 27.9	3 . テレビ上の番組表 37.7
4 . 字幕放送や解説放送などのサービス 11.5		
5 . クイズ参加などの双方向サービス 17.2		6 . 多チャンネル 45.9
7 . ニュースや天気予報、地域情報などデータ放送を視聴可能 31.1		
8 . 特にない 11.5	9 . その他 4.1	無回答 2.5

問 1 4 地上波デジタル放送の開始時期とアナログ放送の終了時期を知っていますか？(1つに○)

n=122

1 . 地上波デジタル放送開始時期が 2003 年 12 月であることを知っている 2.5	
2 . アナログ放送終了時期が 2011 年 7 月であることを知っている 57.4	
3 . 開始時期も終了時期も知っている 13.9	4 . 開始時期も終了時期も知らない 25.4
無回答 0.8	

*ここからはあなた自身についてお聞きします。

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つに○) n=122

1 . 男性 51.6	2 . 女性 48.4
-------------	-------------

F 2 あなたの学年を教えてください。(1つに○) n=122

1 . 1 年生 66.4	2 . 2 年生 19.7	3 . 3 年生 13.9	4 . 4 年生 0
---------------	---------------	---------------	------------

F 3 あなたの学科を教えてください。(1つに○) n=122

1 . 広報学科 71.3	2 . 経営情報学科 7.4	3 . 情報システム学科 15.6
4 . 国際コミュニケーション学科 4.1		5 . 国際関係学科 0.8
6 . 短期大学 0	無回答 0.8	

F 4 あなたは現在一人暮らしですか？実家暮らしですか？(1つに○) n=122

1 . 一人暮らし 54.1	2 . 実家暮らし 45.9
----------------	----------------

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。